

令和元年7月25日

守谷市議会議長 殿

委員長： 青木 公達 印

報告者： 渡辺 大士 印

総務教育常任委員会視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日	令和元年7月24日（水）	
視察・研修場所	静岡県裾野市役所	
視察・研修項目	指定管理者制度のモニタリングについて	
参加者	守谷市側	青木公達，長谷川信市，渡辺大士，浅川利夫，市川和代，佐藤弘子，梅木伸治議長 総務部長 坂 浩，議会事務局 望月理恵
	相手側	土屋議長，行政経営監，保育課長，生涯学習課長代理，行政経営監付副参事，行政経営監付主任，行政経営監付主事
視察・研修目的	指定者管理制度のモニタリング調査をおこなっている裾野市の政策を見て，当市における指定管理制度に第三者評価が必要かどうかを検証する。	
視察・研修内容	別紙のとおり	
視察・研修総括 （今後の取組み等）	裾野市の第三者評価によるモニタリングは，市内に「トヨタ自動車」の工場があり，トヨタの「カイゼン」の考え方を行政に活かすべきではないかというところから始まった。行政経営監という役職を設置し行政改革を行い，その一部で指定管理者制度のモニタリングを実施しているが市内に有識者が多く点在していることを活かした制度となっている。守谷市においても指定管理制度がこれからも増えていく可能性を鑑み，今後第三者評価を行う必要性があるため，市内の人財の調査し，どのように指定管理者制度を活かしていくのか検討をする必要があると感じた。	